

## ピリピ人への手紙 1:3-11 神との契約と主の一つの体である互いとの契約

本日、横浜国際バプテスト教会は創立65周年を祝います。キリストの体として奉仕してきたこの数十年間、神が私たちに示してくださった真実と恵みに感謝するため、毎年特別に設けたこの創立記念日に近い日に、私たちは日本のこの街でバプテスト教会で礼拝を献げたいと願った小さなアメリカ人軍人グループにも深く感謝すべきです。山下公園近くの現在のシルク博物館で集まった最初のメンバーから始まり、現在YIBCで家族と呼び合う私たち全員に至るまで、神は教会として私たちを守り、日本国内や世界中で影響力を広げ続けてくださいました。かつての会員が去り、新たな会員が加わる中で、神は変わらぬ御手をお示しになったのです。しかし何よりも、私たちの感謝は、私たちの人生を通して神の栄光を映し出すことで、その栄光が広がる結果であるべきです。

神が私たちと結ばれた契約は、私たちを救いに導き、御自身の教会として召すためであり、その目的は神の栄光のためです。そして私たちYIBCの教会が、キリストのからだの部分として互いに、また神と結ぶ契約も、神に栄光をもたらすためです。神に栄光をもたらすことが私たちの第一の目的であり、教会のビジョンステートメントが示す通りです。

私たちは、祈りつつ神の御言葉によってキリストの従順な者たちを備え、言語や文化を超えて愛ある一致の中で互いに仕え合い、新たな信者と新たな教会を生み出すことによって、神に栄光を帰するために存在します。

今日の箇所、ピリピ人への手紙1章3節から11節において、使徒パウロはピリピの街の教会に語りかけ、彼らのために献げる祈りについて述べています。この祈りを通して、私たちは神との契約が私たちの内に働いていること、そして現代の教会における互いへの契約の精神が、究極的には神に栄光をもたらすことを知ります。教会の一員として共に契約を結ぶことの意味を考えると、この箇所が私たちの理解を導くでしょう。

まず、この聖書箇所を始めに読みましょう。

**ピリピ人への手紙 1章3-11節** 私は、あなたがたのことを思うたびに、私の神に感謝しています。 4 あなたがたすべてのために祈るたびに、いつも喜びをもって祈り、 5 あなたがたが最初の日から今日まで、福音を伝えることにともに携わってきたことを感謝しています。 6 あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。 7 あなたがたすべてについて、私がこのように考えるのは正しいことです。あなたがたはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、私とともに恵みにあずかった人たちであり、そのようなあなたがたを私は心に留めているからです。 8 私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、その証しをしてくださるのは神です。 9 私はこう祈っています。あなたがたの愛が、知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、 10 あなたがたが、大切なことを見分けることができますように。こうしてあなたがたが、キリストの日に備えて、純真で非難されるところのない者となり、 11 イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神の栄光と誉れが現されますように。

パウロはピリピの教会に対して、彼らのための祈りについて語っています。そして彼の祈りは、主に感謝の祈りです。後ほど彼らのための執り成しやを嘆願を述べる部分もありますが、主に神に感謝を献げているのです。コリントの教会のように、パウロが少なくとも二通、おそらく四通の手紙で戒めなければならなかった教会もありましたが、ピリピの信徒たちに対してはこう言っています。

**.. 私は、あなたがたのことを思うたびに、私の神に感謝しています。 4 あなたがたすべてのために祈るたびに、いつも喜びをもって祈り**

彼らのパウロとの関係のどこが彼に喜びをもたらしたのでしょうか。それは福音における彼との協力関係でした。5節はこう述べている。 **5 あなたがたが最初の日から今日まで、福音を伝えることにともに携わってきたことを感謝しています。**

それゆえに、パウロは彼らのために祈りの中で神に感謝することができました。そして、もしパウロが今日、横浜国際バプテスト教会に手紙を書いていたなら、同じように **4 あなたがたすべてのために祈るたびに、いつも喜びをもって祈り、5 あなたがたが最初の日から今日まで、福音を伝えることにともに携わってきたことを感謝しています。** と言ってくれたでしょうか。この教会の何が、パウロが彼らとの協力関係にこれほど感謝させたのでしょうか？ 私たちの教会、YIBCは、福音のために様々な宣教団体や宣教師と協力関係にあります。私たちは宣教師を受け入れる教会となり、彼らが将来の日本での長期的な奉仕に備えるための訓練の場となっています。私たちは国際宣教委員会（IMB）やリーチング・アンド・ティーチング・インターナショナル・ミニストリーズ（RTIM）などの団体と関係を結んでいます。

私たちは、クロスチャーチ横須賀やクロスコミュニティチャーチ横浜といった教会に対して、派遣教会としての関係を持っています。そうしたパートナーシップの一つひとつにおいて、福音のパートナーである彼らがこう言えるでしょうか。YIBCを思うとき、この福音におけるパートナーシップがあることに感謝し、喜びを感じます、と。それが、今日のこの箇所でパウロがこの教会に語った言葉の残りを考察するにあたり、私たちが問うべきことです。

この教会からパウロに喜びをもたらしたのは、神が御自身の教会を築くという契約の御業を認めることでした。6節を見てください。 **6 あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。**

救いにおいても、教会の共同体作りにおいても、私たちの働きによるものは何一つありません。初めから終わりまで、それは天地創造以前にすでに定められていました、私たち一人ひとりに対する神の主権的な御計画による御業なのです。ですから、エペソ人への手紙1章3節から6節には、私たちの贖いに関する神の驚くべき計画が記されています。

**エペソ人への手紙 1章3-6節 私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。4 すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方にあって私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。5 神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。6 それは、神がその愛する方にあって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。**

神は、この世界が創造される前から、私たちを救いを選び、あらかじめ定めておられました。神はイエス・キリストを通して、私たちを御自身のものとして選ばれたのです。契約という言葉が本文には出てきませんが、出エジプト記で見てきたことを思い出してください。神はモーセの契約を結び、神と共にいるために必要な聖さを示されましたが、その契約を守れる人間はいませんでした。その代わりに、イエス・キリストと十字架上の犠牲を通してすべての人に開かれた新しい契約を指し示したのです。したがって、私たちが住むこの世界が創造される以前から、神の救いの契約は始まっていたのです。そして私たちが神の子として養子にされる時、私たちはキリストの体である教会の部分として置かれるのです。

**コリント人への手紙 第一 12章27節 あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。**

ですから、教会は私たちの働きではなく、神の御業なのです。そしてパウロは、ここでピリピの教会にこう告げています。救いの働きを始め、人々を集めて教会として築き上げられた神は、キリストが再び来られるまで、教会においてその働きを忠実に続けてくださるのです！ ですから、彼にとって喜びは、神が御自身の契約を尊び、教会を築き上げるという御自身の働きを決して放棄されないという確信の中にあつたのです。しかしパウロにとっての喜びは、神が教会の協力関係を用いて、御自身の恵みを彼に確信させてくださったことにもあつたのです。7-8節を見てください。 **7 あなたがたすべてについて、私がこのように考えるのは正しいことです。あなたが**



**たはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、私とともに恵みにあずかった人たちであり、そのようなあなたがたを私は心に留めているからです。**

パウロがこの手紙を書いた状況を理解すると役立ちます。パウロはローマで投獄されており、おそらく西暦61～62年頃でしょう。彼は人生の終わりを迎えつつありましたが、それでもピリピの信徒たちへの手紙を書き、その内容は喜びに焦点を当てている点が際立っていました。しかしこれは特定の教会への手紙であり、他の教会からの知らせが落胆の種となることもありました。が、この教会はパウロとの協力関係の中で神の恵みを体現していたため、彼に喜びをもたらしました。信者として、私たちは皆神の恵みの契約の受け手です。先ほど読んだエペソ人への手紙1章6節は、私たちの救いは、**6 それは、神がその愛する方において私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。**

神が私たちと結ばれた救いの契約は、教会との家族関係へと導くものであり、それはただ神の恵み、すなわち私たちが受けるに値しない神の好意に基づいています。私たちは皆、神の栄光と交わりのために、神の家族の一員となるよう創造されました。教会は、本来創造された私たちにとって呼吸のように自然なものであるべきでした。しかし最初の人アダムを通して、私たちは皆、本性的にも選択的にも罪を犯しました。私たちは絶望的に失われ、神の御怒りのもとでその罰に直面しています。しかし神の恵みにより、神は私たちを愛し、御子イエス・キリストを遣わされました。神が人となって肉体をまとわれ、十字架で死に、復活して私たちの罪の代償を支払われたのです。私たちが罪を悔い改め、イエスを主であり救い主として受け入れるとき、私たちは神の罪なき義を与えられ、罪が赦されます。この簡潔な説明はエペソ人への手紙2章8-9節に見られます。**エペソ人への手紙 2章8-9節 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。**

パウロを御自身のもとに召されて、投獄と宣教の生涯を支えたのは神の御恵みでした。そして、ピリピの教会と私たちの教会を救いに召され、宣教の最前線に立つ者たちを支えるように導くのも、その同じ御恵みです。福音のためにパートナーとして共に歩むことには喜びがあります。宣教師や教会開拓者を召し、支える恵みが、私たちがその宣教師や教会開拓者を支えるときにも私たちが召し支える恵みと同一であることを認識するからです。パウロにとって彼らの協力は計り知れないほど大切であり、8節の終わりでこう述べています。**8 私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、**

思い出してください、パウロは長い間彼らと物理的に共にいませんでした。実際、彼はヨーロッパ大陸初のキリスト教会としてこの教会を設立したものの、数か月しか滞在せず、その後数年後に短期間訪れたただけでした。しかし直接の交流が短かったにもかかわらず、彼らはパウロを決して忘れず、福音をもたらすために彼らを愛し、イエスのことを聞いたことのない人々に福音を伝えるために生涯を献げたこの使徒を常に支え続けました。もし彼らが一致が保てず、互いに争っていたならば、この教会がパウロにとってこれほど大きな意味を持ち、これほどの支援を与えられたでしょうか？ きっと、だめだったでしょう。

実際、コリントの教会はまさにそのようでした。彼らは不一致を抱え、罪を容認していました。そしてパウロが彼らを喜ばしいと語れたのは、コリントの教会が悔い改めた後の第二コリント書においてのみでした。しかし同じ手紙の中で、彼は使徒としての立場を擁護せざるを得ませんでした。なぜなら彼らは、パウロの教えを聞くなと言う偽教師たちの言葉に耳を傾けていたからです。そこにもまた、彼の複雑な心情が表れています。しかし、このピリピの教会には一致があり、これから見ていくように、互いへの愛と福音への愛が深く、パウロは宣教の大半を彼らと離れて過ごしながらも、そこに喜びを見出していました。これこそが、私たちがお互いと結ぶ契約の核心です。私たちは一致した誓約を通じて、互いに対する期待を明確にします。それは神に対するもの、そしてYIBCというキリストの体を構成する兄弟姉妹に対するものです。この誓約に一

致を見いだすとき、私たちは私たちに遣わされる聖徒たちと、私たちが遣わす聖徒たちに対して最善のケアができるのです。

そして、私たちが互いに結ぶその契約の鍵は愛です！パウロがこの教会のために続ける祈りを記す中で、このことが明らかになります。彼は9節でこう言っています。**9 私はこう祈っています。あなたがたの愛が、知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、究極的に、神が私たちと結ばれた契約は、罪深い被造物に対する神の愛に基づいています。**

**ローマ人への手紙 5章8節** しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。

そして、キリストにある兄弟姉妹の間の愛こそが、クリスチャンの最も重要な特徴である。弟子たち、そしてキリストのすべての信者に向けて、イエス様はヨハネによる福音書13章35節でこう言われました。”**ヨハネの福音書 13章35節** 互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。

神の恵みの契約は、私たちに対する神の愛に基づいています。そして私たち互いとの契約は、互いに愛を示す最善の方法を定めることに基づいています。これが、宣教師や福音のパートナーを適切に愛するための備えとなるのです。しかし、この愛は教会の生活において、パウロがこの教会のために祈ったように、特定の特性を帯びて現れます。互いへの正しい愛は、識別力の増大をもたらすことがわかります。9節の終わりと10節にはこう記されています。**あなたがたの愛が、知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、10 あなたがたが、大切なことを見分けることができますように。** こうしてあなたがたが、キリストの日に備えて、純真で非難されるところのない者となり、

真の愛はキリストの体である教会にとって最善を願い、教会を構成するキリストにある兄弟姉妹が、神を最も栄光に輝かせる賢明な選択をするよう助けます。愛はこう言います。罪を犯すような、あるいは罪への扉を開くような、あるいはキリストへの証しを損なうような、賢明でない選択をしている兄弟姉妹を、私は優しく正そうと。だからこそ私たちは、教会契約における互いへの責任について語るのです。ではなぜ私たちはそうするのでしょうか？なぜ、ある意味で人を不快にさせたり、私たちが人生で格闘している罪や問題に対して自らをさらけ出したりするような愛を持つのでしょうか？それは教会の神聖さを守るためです。第10節は終わります。**こうしてあなたがたが、キリストの日に備えて、純真で非難されるところのない者となり、11 イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、**

イザヤ書において、神は義を美しい衣をまとうことだと仰っています。**イザヤ書 61章10節** 私は主にあって大いに楽しみ、私のたましいも私の神にあって喜ぶ。主が私に救いの衣を着せ、正義の外套をまとわせ、花婿のように栄冠をかぶらせ、花嫁のように宝玉で飾ってくださるからだ。

教会はキリストの花嫁であり、主の義こそが教会に美しさを与えます。ゆえに私たちは互いを愛し合い、義と聖さにおいて励まし合います。そうすることで私たちの救い主の美しさを輝かせることができるのです。その結果として**神の栄光と誉れが現されますように。**これが私たちの出発点であり、この聖書箇所を終着点です。私たちを救いに導き、御自身の教会として召すという神の契約は、神の栄光のためです。愛をもって互いに建て上げるために共に契約を結ぶことは、神の民の中に神の栄光が現れることにつながります。本日のメッセージを締めくくるにあたり、皆で立ち上がり、まず英語で、次に日本語で、私たちの教会契約を読み上げたいと思います。その後、祈りを献げます。

教会契約朗読

祈りましょう。

## Philippians 1:3-11 God's Covenant with Us and our Covenant Together

Today we are celebrating 65 years of existence as a church here at Yokohama International Baptist Church. On this day near the anniversary of our founding that we specifically set aside each year to thank God for his faithfulness to us for all these decades of ministry as the Body of Christ, we should be deeply grateful for that small group of American service members who simply wanted to worship in a Baptist Church in their city in Japan. From that initial group of members meeting in what is now the silk museum near Yamashita Park to all of us now who call each other family here at YIBC, God has been faithful to preserve us as a church and to expand our influence here in Japan and in many ways around the world as former members came and left. Most of all, though, our thankfulness should result in the spread of God's glory as we reflect that glory in our lives. **God's covenant with us to bring us to salvation and call us to be his church is for the purpose of his glory.** And our covenant together as a church to each other and to God as members of the body of Christ at YIBC is for the purpose of bringing him glory. To bring glory to God is our primary purpose as our church vision statement says, "*we exist to glorify God by prayerfully equipping followers of Christ through the Word of God to serve each other in loving unity regardless of language or culture and reproduce in new believers and new churches.*" In our passage today, **Philippians 1:3-11**, the apostle Paul is speaking to the church in the city of Philippi, and telling them about his prayers on their behalf. In his prayer, we see God's covenant at work within us, and the ideas expressed in our modern church covenant towards each other which ultimately brings glory to God. As we consider what it means to covenant together as church members, this passage should guide our understanding.

Let's read this passage as we begin. **3 I thank my God in all my remembrance of you, 4 always in every prayer of mine for you all making my prayer with joy, 5 because of your partnership in the gospel from the first day until now. 6 And I am sure of this, that he who began a good work in you will bring it to completion at the day of Jesus Christ. 7 It is right for me to feel this way about you all, because I hold you in my heart, for you are all partakers with me of grace, both in my imprisonment and in the defense and confirmation of the gospel. 8 For God is my witness, how I yearn for you all with the affection of Christ Jesus. 9 And it is my prayer that your love may abound more and more, with knowledge and all discernment, 10 so that you may approve what is excellent, and so be pure and blameless for the day of Christ, 11 filled with the fruit of righteousness that comes through Jesus Christ, to the glory and praise of God.** Paul is telling this church in Philippi what his prayer is for them. And his prayer for them is one primarily of thanksgiving. There will be petition and requests on their behalf that he mentions later, but primarily, he thanks God for them. There were other churches like the one in Corinth that Paul had to rebuke in at least two letters and probably 4 total, but to the Philippians he says **I thank my God... for you all... making my prayer with joy... because of your partnership in the gospel from the first day until now.** This made him able to thank God in his prayers for them. And I wonder if Paul was writing today to Yokohama International Baptist Church, would he be able to say, "**I thank my God... for you all... making my prayer with joy... because of your partnership in the gospel from the first day until now.**" What was it about this church that caused him to be so thankful for their partnership? Our church, YIBC, is partnered together for the gospel with various mission agencies and missionaries. We have become a receiving church for missionaries to be a training



ground for them as they prepare for future ministry long term here in Japan. We have relationships with entities such as the International Mission Board and Reaching and Teaching International Ministries. We have relationships where we are the sending church for churches like Cross Church Yokosuka and Cross Community Church Yokohama. In each one of those partnerships, are those partners in the gospel able to say, when I think of YIBC, I am thankful and joyful because of having this partnership in the gospel? That is the question we need to ask as we examine the rest of Paul's words to this church in this passage today.

**What brought Paul joy from this church was recognizing God's covenant work of building his church.** Look at verse 6. **And I am sure of this, that he who began a good work in you will bring it to completion at the day of Jesus Christ.** There is nothing in salvation or in the building of a church that is our work. From start to finish, it is the work of God whose sovereign purpose for each of us began before Creation itself. So, we read in **Ephesians 1:3-6** about God's incredible plan for our redemption. **3Blessed be the God and Father of our Lord Jesus Christ, who has blessed us in Christ with every spiritual blessing in the heavenly places, 4even as he chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. In love 5he predestined us for adoption to himself as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will, 6to the praise of his glorious grace, with which he has blessed us in the Beloved.** God elected or predestined us to salvation before this world was ever created. He chose us to be his own through Jesus Christ. I know the word covenant is nowhere in our text, but remember what we have been seeing in Exodus. He made a Mosaic covenant that showed the holiness it took to be with God, but no human could keep that covenant. Instead it pointed to a New Covenant, opened to all through Jesus Christ and his sacrifice on the cross. So God's covenant with us for salvation began before the very world we live in was created. And when we are adopted as sons and daughters of God, we are placed into his Body, the church. **1Corinthians 12:27 says, 27 Now you are the body of Christ and individually members of it.** So, the church is not our work, its God's work. And Paul tells the church here in Philippi that God, who started the work of salvation and bringing people together to be the church, will be faithful to continue to do that work in the church until Christ returns! So, for him joy came in the assurance that God will not abandon his work of honoring his covenant and building his church.

**But joy for Paul also came because God used the church's partnership to assure him of his grace.** Look at verses 7-8. **It is right for me to feel this way about you all, because I hold you in my heart, for you are all partakers with me of grace, both in my imprisonment and in the defense and confirmation of the gospel. For God is my witness, how I yearn for you all with the affection of Christ Jesus.** It helps to understand where Paul is when he writes this. Paul is imprisoned in Rome, likely around 61-62AD. He is likely facing the end of his life, and yet he writes a letter to the Philippians that is conspicuous by its focus on joy. But it is a letter to a specific church, and while other churches may have been a source of discouragement to hear from, this church brought him joy in that they lived out God's grace to them in their partnership with Paul. As believers, we are all recipients of God's covenant of grace. Ephesians 1:6 that we just read reminds us that our salvation is... **to the praise of his glorious grace, with which he has blessed us in the Beloved.** God's covenant with us for salvation that brings us into the relationship with the church is based solely on his grace – his undeserved favor that

he shows towards us. We are all created by God for his glory and for his fellowship to be part of his family. Church is supposed to be as natural as breathing for us as originally created. But through the first human Adam we have all sinned by nature and by choice. We are hopelessly lost and under God's wrath facing his punishment. But in his grace, he loved us and sent Jesus Christ, his own son, God in the flesh to become human and die on the cross and rise again to pay for our sin. When we repent of our sin and accept Jesus as our Lord and Savior, we are given his sinless righteousness and forgiven for our sin. The short description of this is seen in [Ephesians 2:8-9](#), **8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast.**

It was God's grace that called Paul to himself and sustained him during his imprisonment and ministry life. And it was that same grace that calls the church at Philippi and our church to salvation and to support of those who are on the frontlines of ministry. There is joy found in partnering together for the gospel, recognizing that the same grace that calls and sustains the missionary or the church planter is the same grace that has called and sustains us as we support that missionary and church planter. Their partnership with Paul meant so much to him that he says at the end of verse 8, **I yearn for you all with the affection of Christ Jesus.** Remember, Paul has not been physically with them in a long time. In fact, although, he planted the church originally as the first Christian church on European soil, he only stayed there a few months and then visited briefly a few years later. But though their in-person time was short, they never forgot and always supported this apostle who loved them enough to bring them the gospel and pour out his entire life to take the gospel to people who had never heard of Jesus. Could this church have meant this much to Paul or given him this much support if they were disunited and fighting among themselves? I don't think so. In fact, the Corinthian church was exactly like that – they had disunity and tolerated sin; and Paul was only able to say they brought him joy in 2Corinthians after they repented. But then in that same letter, he had to defend his apostleship because they were listening to teachers that were telling them to not listen to Paul, so even there he had mixed emotions. But these Philippians had unity in the church and as we will see love for each other and for the gospel to such an extent that Paul found joy in it though separated from them for most of his ministry. This is what the point of our covenant with each other is. We seek through a unified commitment to be clear about our expectations of each other both to God and to the brothers and sisters who make up the Body of Christ at YIBC. When we find our unity in those commitments, we can best care for those who are sent to us, and those we send out.

**And the key to that covenant we make with each other is love!** We see this as Paul continues to describe his prayers for this church. He says in verse 9, **And it is my prayer that your love may abound more and more...** Ultimately God's covenant with us is based in the love he has for sinful creatures. So, [Romans 5:8](#) says, **8 but God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us.** And love between brothers and sisters in Christ is then the primary distinguishing feature of Christians. Speaking to his disciples and of all followers of Christ, Jesus said in [John 13:35](#), **35 By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another.** God's covenant of grace then is based on his love towards us, and our covenant with each other is based on determining how best to show love to each other, which then prepares us to love missionaries and partners in the gospels well. But that love will take on specific

characteristics in the life of the church as we see in Paul's prayer for this church. We see that proper love for each other will result in increased discernment. The end of verse 9 and verse 10 says, **with knowledge and all discernment, 10 so that you may approve what is excellent...** Real love wants what is best in the body of Christ, and helps the church and the brothers and sisters in Christ who make up the church, make wise choices that best glorify God. Love says that I will gently correct my brother and sister who are making unwise choices that are sinful or will open the door to sin in their lives or harm their testimony for Christ. And so we talk about the accountability we have to each other in our church covenant. Now why would we do this? Why have the kind of love that is willing to make people uncomfortable in some ways or to be vulnerable with the sin and problems that we are struggling with in our lives? It is for the purpose of holiness in the church. Verse 10 ends, **and so be pure and blameless for the day of Christ, 11 filled with the fruit of righteousness that comes through Jesus Christ...** In Isaiah, God describes righteousness as being dressed in beautiful clothes. **Isaiah 61:10** says, **I will greatly rejoice in the Lord; my soul shall exult in my God, for he has clothed me with the garments of salvation; he has covered me with the robe of righteousness as a bridegroom decks himself like a priest with a beautiful headdress, and as a bride adorns herself with her jewels.** The church is the bride of Christ, and His righteousness is what gives the church her beauty. So we love each other enough to encourage each other in righteousness and holiness so that we can magnify the beauty of our Savior. This results in **...the glory and praise of God...** which is where we began, and where this passage ends. **God's covenant with us to bring us to salvation and call us to be his church is for the purpose of his glory.** Covenanting together to build each other up in love leads to the glory of God being displayed in his people. I want to close this message today, by standing together and reading our church covenant, first in English and then in Japanese, and then I will pray.

Read Covenant  
Let's pray.